

選考会用《プログラミングコース自己事前チェックリスト》

プログラミングは、トライ＆エラーで、自分で調べ解決していく力が必要です。

そのため、プログラミングコースでは、短い講義後、メインは自習形式で進めていくスタイルです。

(講習：自習＝2：8)

まず、自分で課題に取り組み、分からないことはテキストやWeb検索で調べながら進めていきます。

調べても分からない場合、手を挙げて講師に質問する形です。

プログラミングコースは、3つのサブコースの中で、最も難易度が高いです。

(PCに日常的に触れていない方や自習形式に抵抗のある方は、他の2つのコースをお勧めします。)

下記のチェックリストは、プログラミングコースを受講するにあたって、必要となるスキル及びIT用語です。事前にご確認ください。

◆ PC操作スキル及びIT用語理解

No	項目内容	はい	いいえ
1	PCを使ってファイルの保存・移動・削除などの基本操作ができる	☐	☐
2	Web検索をして、情報を自分で調べることができる	☐	☐
3	Word やExcelを使って、文書作成や表作成ができる	☐	☐
4	文書作成等において、スムーズにタイピングができる	☐	☐
5	Excelを使用し、簡単な四則演算や関数（SUM、AVERAGE）が使える	☐	☐
6	コピー＆ペースト（Ctrl+C、Ctrl+V）等の基本的なショートカットキーが使える	☐	☐
7	ファイルの解凍・圧縮ができる	☐	☐
8	ソフトウェアのインストールができる 例：セキュリティ対策ソフトのインストール	☐	☐
9	プログラミングのシステムに関する用語である「Java」「HTML」等の言葉を聞いたことがある	☐	☐

<参考>

- ・プログラム作成は英語がベースとなります。英語に抵抗感がない方が望ましいです。